

第3回日本・アラブ経済フォーラム  
日本・アラブ経済関係の発展のための共同声明（骨子）  
2013年12月16日

**A. 日・アラブ経済関係**

1. 日・アラブ両者は、第2回フォーラム以降に発生した東日本大震災、アラブ諸国における民主化移行プロセスを踏まえ、互いがそれぞれの繁栄にとって不可欠なパートナーであり、協力を一層進めることを確認。また、ハイレベルの相互訪問により日アラブ経済関係が拡大・深化したことを歓迎。
2. 両者は、エネルギー安全保障の観点から、競争的な価格の天然ガスの安定供給を含む天然資源及びエネルギー分野での協力関係の強化が不可欠であることを確認。また、両者は、重層的な経済関係の構築に努める決意を改めて表明。
3. 両者は、一部のアラブ諸国における民主体制への移行は時間を要することを認識し、移行国の努力を長期的に支援することを確認。アラブ側は、公正な政治・行政、人づくり、雇用促進・産業育成を中心とする日本側の支援に感謝し、これらの分野での官官・官民協力の推進を確認。
4. 両者は、アラブ諸国における投資環境改善及び地域的統合に向けて、官官・官民・民間のネットワーク強化の必要性を強調。邦人・日系企業の安全確保の必要性を確認。

**B. エネルギー、環境及びインフラに係る協力**

1. 両者の安定的な経済活動のために、エネルギー安全保障の重要性を強調。特に、石油・天然ガス産業における協力の重要性を認識。
2. 再生可能エネルギーの普及・拡大に向けた協力関係の強化、原子力の平和利用に関する協力促進の重要性を認識。インフラに係る協力の更なる強化を表明。食糧安全保障を確保するための協力促進、自然及び人的災害に対する社会基盤整備における協力等の重要性を認識。

**C. 経済多角化のための人材面及び技術面での協力**

アラブ地域における民主体制への移行と雇用促進が地域の安定にとって喫緊課題であることを認識。人的交流の促進、若者世代への教育・職業訓練及び特にアラブ経済の多角化に向けた技術移転の奨励の重要性を認識。

#### **D. 重層的な経済関係の構築**

日・アラブ間の人的交流を更に推進する意思を表明。貿易投資における協力，農業及び医療分野における協力推進の重要性を認識。アラブ側における地域的統合の促進及び右に対する日本側の支援の可能性を議論。

#### **E. 今後に向けて**

1. 両者は，第4回日本・アラブ経済フォーラムの機会に，日アラブ政治対話が初めて開催される予定であることを歓迎。両者は，経済フォーラム，政治対話及び文化・教育分野における協力を三本柱とする「日アラブ協力メカニズム」の枠組みに基づく協力を拡大する意志を表明。また，同枠組みの設立は，安倍総理が2013年5月に表明した「安定と繁栄に向けた包括的パートナーシップ」を実現するために日アラブ関係を強化することを目的とすることを確認。

2. モロッコが第4回フォーラムを2014年に開催することを歓迎。

(了)